

警察庁によると2019年の薬物事犯の検挙状況は、覚醒剤事犯の検挙人員は減少しているものの、大麻事犯の検挙人員が過去最多になり2014年以降増加し続けています。

年代別で

は、20歳代が最も多く、次

に20歳未満となっています。若者の

大麻乱用がまん延しているのです。

何としても食い止めなければなりません。

大麻はゲートウエイドラッグと言わ

大麻犯罪をなくそう

れています。若者の健全な精神や身体を蝕む入り口になっているのです。

大麻乱用のきっかけは「誘われて」が最も多く、「合法の国がある」といった理由で危険性を軽視し、「依

存性はない（弱い）」という誤った認識が広がっています。

官民一体で大麻の危険性を積極的に発信し、若年層への薬物乱用防止教育を徹底しましょう。

防犯一口メモ